



湘南櫻友会報

第2号 平成17年12月10日発行

発行責任者 竹内 猛
編集責任者 内海 孝夫
事務局 茅ヶ崎市中海岸 4-4-11
浦田憲一方

間宮さん有り難う！お疲れさまでした！

今日、「間宮さんのお別れ会」があるなんて、夢ではないかと思っ
ている一人です。間宮さんが一昨
年来、精魂を込めて立ち上げられ
た「学習院同窓会の湘南櫻友会」
を代表して、お別れの言葉を述べ



させて頂きます。設立準備中は、
発起人会の中心として、又設立
後は幹事長として運営を軌道に
のせ、まるで機関車の如く我々
を引張ってくれました。どうも
有り難う！

櫻友会は、初等科から・中・高・短大・大学と、幅広い教育範囲の卒業生をまとめた組織であります。湘南に住み学習院を卒業したという共通項はあるものの、年齢も生活方式も違う人々をまとめることは、至難の技であります。これを間宮さんは、見事にまとめ上げてくれました。

そして当面は「人を知り、人の輪を広げよう！」という事で、種々な行事や催物を企画し実施してくれました。最新の企画は、去る7月31日、辻堂海岸での親子地引網大会でした。80人以上が参加し大盛況でした。間宮さんは、子供達の為、宝探しの賞品選びそして魚だけでは面白くないので、バーベキューもといつて、その道具から焼物の肉や野菜の手配まで、自分でやっていました。それはそれは盛り上がり、皆さん大喜びの一日でした。その時の写真がこれ（紙面記載）であります。もしかしたら、最後の1枚かも知れません。正確・迅速・丁寧・親切そして報告・連絡・相談の「ホウレンソウ」を、苦もなくこなしてきた間宮さん。あなたの緻密な人生を考えると、もしかしたら48歳の倍を生きていたのだらうと、そう思って私は自分自身に「あなたの死」を納得させています。何れ向こうでお会いする時、恥ずかしくないよう、湘南櫻友会はしっかり運営致しますので、ご安心下さい。間宮さん！これまで本当に有り難う！どうぞごゆっくり、安らかにお眠り下さい。最後に、間宮さんが親しみ好きだった「学習院院歌」を、櫻友会の皆さんと歌い、お別れの言葉と致します。

平成17年8月25日 湘南櫻友会 会長 竹内 猛 (昭和33年政経)

(本稿は、横浜ベイシェラトンホテルで行われた間宮家主催の「別れ会」での悼辞を要約したものです。)

～故間宮君を悼む～

私がひそかに彼に贈った渾名「ネクタイ君」は、誰にも知られていない心の中にあります。いつもお洒落で鮮明な色のネクタイを締めて、さっそうとしていた彼がとても印象的でした。そんな彼の置き土産が"湘南櫻友会"であったのかと考え込んでしまうほど、彼の持つ社会観、倫理観そして情熱が常に注がれていました。

安らかな永遠の眠りを祈るのみです。

監事 高沢 寛 (昭和35年政経)

～間宮君の思い出～

間宮君には爽やかな人生を教えられた。思い出ではなく、生きている間宮君ともう少し交友を願いたかった。お別れ会に於いて貴君の死を多くの知人が嘆いたが、御母堂の落胆された姿を忘れられない。孤独とは、子に先立たれた親を意味するという。海を愛し、学習院校歌を愛した君を思う。また生るる不死鳥の如く、大乘の海に漕ぎ出す間宮君の勇姿を。

事務局次長 番場康之 (昭和52年法)

～新事務局長の抱負～

事務局長 浦田憲一 (昭和37年政経)

本会の発足から運営まで、多大な熱意と行動力で貢献された間宮事務局長の急逝の後を受けて、事務局をお引き受けいたしました。今更ながらその責任の重さを感じ、身の引きしまる思いであります。



幸いにして北村紀子、番場康之両氏の素晴らしい事務局次長に恵まれ、力強く思っております。

会員の皆様のご協力のもと、本会の目的であります「友達の輪を拡げ、絆を強くする」事業の推進に向けて全力を尽くす所存です。今までの会員同士の交流のなかで、同一町内においても、十人近い同窓生が在住していることが判明するなど、新たな人脈を構築するチャンスも増えつつあります。これからも、ご家族で参加できる催し物を企画いたしますので、新規会員のご紹介をはじめ皆様のご支援、ご協力ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<平成17年度事業報告>

* 7月31日 (日) 夏休み地引網大会



炎暑厳しい中、ご家族・友人約80名の参加を頂き、汗をかきながら楽しいひと時を過ごしました。(辻堂海岸)

* 9月24日 (土) 第9回 SUC 親睦会

(湘南・藤沢地区大学 OB 会)

参加 14 校 (参加者約 170 名) のもと、素晴らしい JAZZ 演奏とボーカルの中、盛大に催されました。本会からは会長以下 8 名が出席いたしました。(グランドホテル湘南)

<今後の事業計画予定>

- *平成17年12月22日クリスマス・忘年懇親会
- *平成18年3月頃・・・果物狩り懇親会代替事業
- *平成18年5月・・・第2回総会
- *平成18年8月・・・地引網大会

<会員の紹介>

副会長 標 文雄 (昭和35年政経)

私が育ったのは東京、下町の浅草馬車道です。観音さま、三社さま(浅草神社)二天門へ歩いて3～4分の所です。第二次世界大戦中の昭和19年に山梨県の甲運村(今は甲府市)へ疎開しました。当地で小・中学校を過ごし高校は甲府一高に合格しましたが、国家公務員の父親の転勤で茅ヶ崎に移住することになり、創立2年目の新制茅ヶ崎高校に転校しました。現在は同窓会の相談役として活動しています。



昭和31年に学習院大学に入学、金沢誠先生のホームルームでした。高沢寛監事や楽しい仲間との交遊が始まりました。33年から2年間、大学に合格するより難しいといわれていた昭和寮に入寮する事が出来ました。同じ一つの釜の飯を食った友達は兄弟以上といわれますが、昭和寮会は大学生活最大の私の財産です。昨今は38年勤務した会社の7百余名のOB会の理事を拝命し頑張っています。

「事務局便り」

*「櫻友会全国支部長会議」が11月12日、目白にて開催されました。来年は櫻友会創立85周年に当たり、節目に相応しい行事や事業のアイデアを募集しています。(詳細を知りたい方は、事務局までお問い合わせを)

* “年会費納入のお願い！”

湘南櫻友会の活動は会員各位の年会費により運営されています。未納の方は、下記振込先までどうぞご協力をお願いいたします。

年会費：2000円

振込先：湘南櫻友会

郵便局 口座番号：00270-6-93815

【編集後記】

第2号はカラー版にしました。今年はいろいろな事がありましたが、来年も皆様にとって良き年であります様！

編集員一同

(内海孝夫・櫛原直樹・品川朋代・吉田美桃)